

【バードライフ・インターナショナル】

ヨーロッパの地域開発支援と、 鳥の保護がタイアップ!!



EUは農地や農業保護のために、全予算の約40%を振り分けるほど農業を重視しています。近年は農産物の生産性を高める以前に、農地や田園地帯の環境保全や、安全・安心な農業に重きを置いています。このほど、アイルランドでは、さらに踏み込んで、絶滅が危惧される農地の鳥を保護する環境重視型の農業を行う農家に、「農村開発プログラム」から資金を優先的に利用することが認められました。もし活動が適切に行われるなら、地域内での鳥の個体数減少に歯止めをかけ、回復の希望をもたらすプログラムです。

現在のアイルランドでは、開発された農地がモザイク状になり、自然環境の喪失や劣化がもたらす鳥の減少は深刻な状況にあります。よって、このような支援は農家が日ごろから自然や生き物をより大切にしようと考える、いいきっかけづくりになるとともに、農業全体として見ても

環境に配慮したヨーロッパ型の農業を推進するいいインセンティブとなるはずです。

今回の措置は、2014年～2020年の「新農村開発プログラム」の一環で、アイルランドで繁殖するシギ・チドリ類の保護を強化する目的で、7月上旬に欧州委員会に提出されました。世界レベルでみると、狩猟が禁止されておらず、野鳥は農業の天敵と考える地域も多く、ヨーロッパの試みが日本のみならず、世界に広がることを期待したいと思います。



Curlew ©Padraig Kavanagh

バードライフ・インターナショナル

イギリス ケンブリッジに本部を持つ国際環境NGO。

世界120か国のパートナー団体と約280万人のメンバーとともに、

鳥類を指標にして環境保全に取り組む。

高円宮妃久子殿下が名誉総裁を務める。